

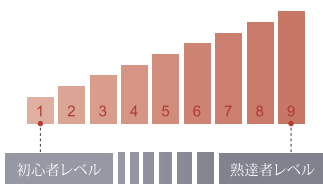
IELTSとは？

世界135の国と地域、
約9,000の教育機関などで採用

IELTS (International English Language Testing System)は、海外留学や海外移住の際に必要な資格の1つで、あなたの英語力を判断するためのテストです。IELTSはブリティッシュ・カウンシル、IDP (IELTS オーストラリア、ケンブリッジ大学英語検定機構)が共同運営で保有する試験で、世界135の国と地域、約9,000の教育機関などで採用されています。

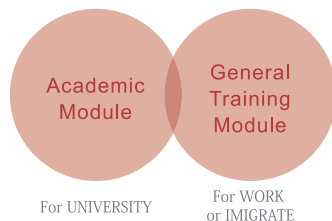
What is IELTS?

Overall Band Score



スコア

IELTSのテスト構成は2時間45分です。IELTSのスコアは、バンドというスコアで表記され、1(まったくの初心者レベル)から9(熟達者レベル)まで分けられます。また、IELTSのテスト結果は合否ではなくバンドスコアで示されます。リスニング・リーディング・ライティング・スピーキングの各パートの英語力がバンドスコアで示される他に、総合評価としてオーバーオール・バンドスコアが与えられます。また、受験日から14日目に結果が発行されます。各会場が設定している受験日であれば何度でも制限されずに受験することができます。



2種類のモジュール

IELTSには、アカデミック・モジュールとジェネラル・トレーニング・モジュールの2種類があります。アカデミック・モジュールは、英語で授業を行う大学や大学院に入学できるレベルに達しているかどうかを評価する試験。ジェネラル・トレーニング・モジュールは、英語圏で学業以外の研修を考えている人や、カナダ、オーストラリア、ニュージーランドへの移住申請を行う人を対象とした試験です。アカデミック・モジュールとジェネラル・トレーニング・モジュールのリスニング、スピーキングの出題内容は同じですが、リーディングとライティングに関しては、出題内容が異なります。

LEVEL

IELTSのテスト結果は合否ではなく1.0から9.0のバンドスコアで示されます。

| | |
|------------------------|--|
| Expert User | 十分に英語を駆使する能力を有している。適切、正確かつ流暢で、完全な解力もある。 |
| Very Good User | 時折、非体系的な不正確さや不適切さがみられるもの、十分に英語を駆使する能力を有している。慣れない状況においては、誤解が生ずる事もありえる。込み入った議論に、うまく対応できる。 |
| Good User | 時折、不正確さや不適切さがみられ、また状況によっては誤解が生ずる可能性もあるが、英語を駆使する能力を有している。複雑な言語も概して上手く扱っており、詳細な論理を理解している。 |
| Competent User | 不正確さ、不適切さ、および誤解がいくらか見られるもの、概して効果的に英語を駆使する能力を有している。時に、慣れた状況においては、かなり複雑な言語を使いこなすことができる。 |
| Modest User | 部分的に英語を駆使する能力を有しており、大概の状況において全体的な意味をつかむことができる。ただし、多くの間違いを犯すことも予想される。自身の分野においては、基本的なコミュニケーションを行うことができる。 |
| Limited User | 慣れた状況においてのみ、基本的能力を発揮できる。理解力、表現力の問題が頻繁にみられる。複雑な言語は使用できない。 |
| Extremely Limited User | 非常に慣れた状況において、一般的な意味のみを伝え、理解することができる。コミュニケーションが頻繁に途絶える。 |
| Intermittent User | 確実なコミュニケーションを行うことは不可能。慣れた状況下で、その場の必要性に対処するため、極めて基本的な状況を単語の羅列や短い定型句を用いて伝えることしかできない。英語による会話、および文章を理解するのに非常に苦勞する。 |
| Non User | いくつかの単語を羅列して用いることしかできず、基本的に英語を使用する能力を有していない。 |

ライティングとスピーキングセクションは、答えが決まっておらず、試験官の主観的な基準で採点されるため、日々の勉強方法は非常に難しいです。ブリティッシュ・カウンシル、IDP (IELTS オーストラリア、ケンブリッジ大学英語検定機構)は、ライティングやスピーキングセクションが試験官の主観で採点されないよう採点基準を作成、公表しており、IELTS TRAINING CENTERでは、この採点基準に沿って勉強することで、効果的な解答を行なうことができます。

海外の大学入学であればスコア6.0以上、海外の大学院入学を目指すのであれば、スコア7.0以上が必要と言われています。英語レベル的には、中級者以上の英語力が必要になります。英語が全くの初心者の方ですと、一般英語からのスタートとなります。

海外大学留学

学生ビザ取得に必要なIELTSスコア目安 5.5
学校が求める出願に必要なIELTSスコア目安 5.5~6.0

海外大学院留学

学生ビザ取得に必要なIELTSスコア目安 5.5
学校が求める出願に必要なIELTSスコア目安 5.5~6.0



IELTSトレーニングセンターの強み

1 IELTS専門校

世界初のIELTS専門語学学校です。フィリピンには、たくさんの語学学校でIELTSコースを取り扱っておりますが、IELTS専門の語学学校は、ここIELTSトレーニングセンターが初めてです。



2 フィリピン最多の1日13コマIELTS専門授業

IELTSトレーニングセンターでは、フィリピン最多のIELTS専門授業を1日13コマ受講していただけます。IELTSは、英語力だけでなくテクニックが必要です。そのテクニックを毎日13コマで学んでいただけます。

3 講師の質

IELTSトレーニングセンターの講師は、高度な英語力とともにIELTS試験対策知識に通じていて、数ヶ月にわたる研修過程を修了したIELTS専門講師になります。研修終了後も、トレーニングは行われており、講師もトレーニングの一環として毎月IELTS模擬試験を受けています。

4 選び抜かれた教材、IELTSトレーニングセンターオリジナルハンドブック

IELTSトレーニングセンターで使用される教材は、IELTS専門講師たちが、慎重に研究し厳選しており、プリティッシュ・カウンセルや、IDP提供の試験情報と資料参考資料も取り揃えております。そして、学生のレベルに合わせたIELTSトレーニングセンターオリジナルのテスト対策法を紹介したハンドブックを1人1人に配布するので、自習の時間でもハンドブックからたくさんの対策力を身につけられます。



5 毎週金曜日に行われる模擬試験

IELTSテストを受けるシミュレーションとして、毎週金曜日に模擬試験が行われます。模擬試験は、学生の實力を評価することに効果的です。現在の英語力と目標スコアとの差を知ることができ、改善する必要がある分野を知ることでIELTS対策を効率的に進めることができます。リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの各パートの技能をくまなく測定し、実際のIELTSに近い精度で結果を知ることができ、模擬試験の後のレビューでは、IELTS分野ごとの専門講師と結果を分析し、明らかになった自分の弱点を補う勉強ができます。

6 担当講師と行われるマンツーマン授業

専門講師が、スタートからプログラムの終わりまで学生を担当します。同じ講師が担当するからこそわかる弱点を毎日学生にフィードバックを行うことで、英語上達に導きます。



7 バディーティーチャーシステム

IELTSトレーニングセンターでは、バディーティーチャーシステムを取り入れております。IELTSを担当する専門講師がバディーティーチャーとして、入学した日から卒業まで学生をサポートします!!

IELTS専門講師



IELTSトレーニングセンター講師
MINI



経験豊富!
スクールヘッドのMINI

IELTS講師歴15年を誇るIELTSのプロ! 指導力、知識を含めても右に出るものはいません。また、講師へのトレーニングも担当し講師からの信用も高く安心です。

IELTSトレーニングセンター講師
TINA



授業の満足度に定評あり!
TINA

シャイで物静かですが、真面目で研究熱心な講師です。毎日、授業前、授業後、さらに祝日も授業の準備を行うほど仕事熱心で学生からこの講師の授業を受けたいと殺到しています。

IELTSトレーニングセンター講師
BORJ



IELTSトレーニングセンターの
エース!BORJ

生徒の最大限の学習効果を引き出すため、理解レベルに合った的確な指導方法を的確に選択し、費用対効果の高いレッスンを提供いたします。

カリキュラム

IELTSトレーニングセンターでは、

1日に8時間ものIELTS専門授業を英語で受けることで、
目標スコアを達成するために必要な、
対策力と英語力を養います。



IELTSトレーニングセンターの12週間プログラムは、高度な英語力とともにIELTS試験対策知識に通じていて、数ヶ月にわたる研修過程を修了したIELTS専門講師によって作られています。目標スコアを達成するだけでなく、英語のレベルを上げ、自信をもって英語を話せるようになるよう、全力でサポートします。アカデミック・モジュールとジェネラル・トレーニング・モジュールではスピーキングとライティングの出題方式は非常に異なっていますので、スピーキング 45分×2コマ、ライティング45分×2コマを、学生一人一人のレベルや、目標スコアを把握した担

当講師と行い、より集中して勉強することで、ダイナミックな結果を生み出します。また、リスニング、リーディンググループクラスは、90分ずつ行われます。同じ目標を持つ仲間と英語を使ってコミュニケーションをとることは、刺激を受け、モチベーションを高く保つことにも繋がります。さらにまた、IELTS模擬試験を受けることで勉強の進み具合、弱点、問題を解く順番やペースがわかります。模擬試験の後には、IELTS分野ごとの専門講師と結果を分析し、明らかになった自分の弱点を補う勉強ができます。

Speaking

スピーキング [マンツーマン]

・主な学習内容: 慣用語 / 文法 / 単語 / 発音 / 会話フレーズ

目標スキル 流暢さと一貫性

毎日の反復練習と実践で、学生は英語に対してより自信がつかます。考えをまとめることを学び、自発的で、より自然的に英語が話せるようになります。マンツーマンの授業では、講師が試験官の役をすることで、毎日スピーキングのテストを受けているのと同じ感覚になります。これは、学生にIELTS試験同様の雰囲気、時間制限、プレッシャーの中で解答して試験に強くなるための準備をさせることです。スピーキングテストでは、3つのセッションに分かれておりマンツーマンのインタビュー形式で行われます。まず簡単な自己紹介を要求され、その後、受験者自身や家族について聞かれます。次のセッションでは、渡されたカードに記載された課題(例、これまでもっとも影響を受けた先生について述べよ、等)について、同じカードに指示された内容を加味して試験官に自分の体験や考えを伝えます。最後のセッションでは2番目のセッションでの課題に関連したディスカッションをします。この3つのセッションに慣れることで、どのように答えるかを学びます。また、専門講師が、スタートからプログラムの終わりまで学生を担当します。同じ講師が担当するからこそわかる弱点を毎日学生にフィードバックを行うことで、英語上達に導きます。

Writing

ライティング [マンツーマン]

・主な学習内容: パラグラフ / 連結語 / フレーズを書くために使う語彙 / 文法 / 一貫性と結束

狙い 学生が目標スコアに達することができるよう、ライティングスキルの成長を最大限に促すこと

課題の一つ目(最低150単語)は、Generalの場合、提示された問題に関して、現状を説明したり情報を請求したりする手紙を書きます。Academicの場合、図表やグラフの説明が求められます。双方とも、フォーマルな感じの文章に仕上げることが求められます。課題の二つ目(最低250単語)は、与えられたテーマに対して意見を述べ論証していきます。この問題に関連する情報について確実に書けるようになることに慣れることが重要です。講師は、学生がレポートとエッセイを書く際に、使用するパターンとガイドを学生に提供することで、より簡単に取り組むことができます。また、フィードバックは、学生自身の弱点と強みに気づくよう、毎日行われます。

One on One

スケジュール (月曜日～木曜日)



スケジュール (金曜日)



毎日のテスト

IELTSトレーニングセンターでは、授業で学んだものをIELTSのテストで活かすことができるように、毎日テストが行われます。そして、どこまで覚えられているかの確認もすることができます。

下記の行為は、試験と同じよう禁止されています。

- 他の受験者の解答や用意してきた文章を書き写す行為。
 - 電子機器の持ち込みや使用、試験を実施する部屋への時計計、辞書、ポケットベル、スベルチェッカー、レコーダーや携帯電話の持ち込み。
 - 円滑な試験実施を妨げる行為。
 - 他の受験者へ話しかける行為。
 - 試験問題と解答用紙の持ち出し。
 - 試験を実施する部屋への、鉛筆、消しゴム、水以外の持ち込み。
(お財布、通信機器、めがねケース、シャーペン、帽子、ひざ掛け、コート、食べ物、ハンカチ、事前にテストセンターより許可を得ていない医薬品や自薬などの持ち込みは禁止されています)
- ※IELTS模擬試験は、あくまで英語運用能力を判定することが目的です。学校への入学条件やその他公的に認められた試験ではありません。

Group Class

リーディング [グループ]

□ 毎日2つのリーディングセッション

1. 毎日のリーディングテスト (5:10-6:10)
2. リーディングクラス (2:35-4:05)

毎日のリーディングテストの結果と確認は、翌日のリーディングクラスで説明されます。IELTS試験対策知識を専門講師から学ぶことで、実際のテストテストで活かせるようになります。毎日のリーディングのテストはグループ授業になります。グループ授業では、他の学生とのコミュニケーションが必要になるので、スピーキングのスキルも上達します。

リスニング [グループ]

□ 毎日2つのリスニングセッション

1. 毎日のリスニングテスト (5:10-6:10)
2. リスニングクラス (4:50-5:10)

毎日のリスニングテストの結果と確認は、翌日のリスニングクラスで説明されます。IELTS試験対策知識を専門講師から学ぶことで、実際のテストテストで活かせるようになります。毎日のリスニングテストはグループ授業になります。グループのクラスは、学生のリスニングのスキルだけでなく、スピーキングのスキルも上達します。

Reading

Listening